

授業科目	こども音楽療育概論				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	CH11216J		
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	末成 妙子							
授業概要	【実務家教員担当科目】 実務家教員として聾学校、および総合支援学校の音楽科を担当してきた経験を活かし、障がいのある子どもたちの心身に様々な音楽の要素を用いて発達的な援助を行う音楽療育について、その基礎と専門知識を学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	1 こどもと音楽という視点から、こどもの音楽的なそだちと音楽の多様性について理解を深める。 2 障がいの複雑さを理解し、音楽の持つ多様な力を活用してこどもの表出を促し、他者とのコミュニケーションを 深める手法を学ぶ。 3 こどもが持つ困難さの改善に向けた専門性の高い療育的音楽活動について学ぶ。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	40	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	40		20				60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	10		10				20	
技能・表現 (DP5-3)	10		10				20	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1 音楽の多様性を理解し、その場にふさわしいこどもへの働きかけを瞬時に判断し音楽の力を生かす工夫ができる。 2 こどもに寄り添った立場で障がいを理解し、個別の支援を継続的な取り組みの中で実行する意欲を持ち、発展的にこどもの力を伸ばすことができる。 3 表情、しぐさ、器楽、うた、ことばかけなどを使いあらゆる五感に働きかける工夫について検証することができる。				1「こどもにとっての音楽」を正しく理解し、歌の芽生え、リズム活動の発達段階を把握する。 2 様々な障がいを知り、その子どもの持てる力を高める支援を考えることができる。 3 多様な音楽の力を知り、それを適切に用いて一人ひとりが生き生きとした音楽活動を楽しめる工夫をする。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	テーマ:オリエンテーション 授業の概要、目的、評価の内容と方法などについて理解する。日本の障がい児教育と音楽の系譜について学ぶ。	講義	こども音楽療育士を志す動機をまとめる。	30
2	テーマ:音楽療育の対象児 様々な障がいと対象児について実際の場면을映像で検証しながら、支援をつなぐ療育ということについて学ぶ。	講義	生活上の困難さについて考え、寄り添う姿勢からその不便さについて改善の道を考察する。	30
3	テーマ:音楽療育の意義 障がい児を対象にした音楽療育の意義と音楽の役割について学ぶ。	講義	音楽の持つ多様性という観点から、音楽の3要素について詳しく調べる。	30
4	テーマ:音楽療育と関連領域 .五障がいと関連領域の社会的つながりと歴史的流れについて学ぶ。	講義	地域の支援・療育センターについて調べる。	30
5	テーマ:視覚障害と音楽療育 療育場面での、視覚障害特有の支援と配慮について学ぶ。	講義	教育環境の安全性についてまとめる。	30
6	テーマ:聴覚障害と音楽療育 療育場面での視覚障害特有の支援と配慮について学ぶ。聴覚支援学校における実際の音楽授業を映像で検証する。	講義	重度難聴のこどもたちの合奏の映像を見て感じたことをまとめる。	30
7	テーマ:知的障害・病弱と音楽療育 特別支援学校における音楽療育場면을映像で検証する。	講義	学習したことを保育指導案の中でどのように生かすかをまとめる。	30
8	テーマ:自閉的傾向と音楽療育 ことばで十分表現できないこどもへの理解を深め、実際の保育場面での対応の様子を映像で観察したり、音楽的働きかけによる変化を検証したりする。	講義	自閉的傾向のあるこどもへのはたらきかけについてまとめる	30
9	テーマ:肢体不自由児の音楽 姿勢、楽器操作、道具の工夫と保育場面の設定について学ぶ。	講義	工夫の実例を考察する。	30
10	テーマ:発語 発語を促す音楽療法の方法について学ぶ。	講義	発音誘導サインで短いことばを表す。	30
11	テーマ:コミュニケーション 音楽療育の非言語的コミュニケーションについて学ぶ。	講義	乳幼児のことばの発達について復習する	30
12	テーマ:発達障害と音楽療育 感覚統合、こだわりへの対応について学ぶ。	講義	教師としての心構えを身近な先輩から聞く。	30
13	テーマ:身体運動 身体運動の組織化について学ぶ。	講義	乳幼児の身体反応について復習する。	30
14	テーマ:個別の音楽療育計画 日常の保育の中で行う音楽療育計画と活動内容について学ぶ。	講義	ノート整理	60
15	テーマ:まとめ 本講座のまとめをする。	講義	ノート整理	60
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>特別支援教育に深い関心を持ち、音楽が好きで子ども一人ひとりのそだちを大切に支える心を持つことができれば、この講座はきっと音楽療育士への門を開いてくれるでしょう。丁寧に子どもと向き合い、音楽を全身で楽しむために自分が得意な音楽分野は何なのかを考えて、その分野を磨いてください。</p>			
テキスト	<p>末成妙子 著「音を見る」(白峰社)</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>「難聴児・生徒理解ハンドブック」学苑社</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>障がいのある子どもたちと積極的にかかわって、寄り添う気持ちを育てて下さい。子どもとのやりとりを楽しむ気持ちを味わい、その上で理論に立ち返ることができれば、知識や技能が本当の意味で生かされるはずで</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>試験,レポートについては授業の中で詳しく解説します。</p>			